

# 長寿の

# かわら版



平成26年1月発行  
号外

## 社会福祉法人 とおの松寿会

特別養護老人ホーム 老人短期入所施設 老人デイサービスセンター 生活支援ハウス 居宅介護サポートセンター	養護老人ホーム デイサービスセンター ヘルパーステーション	小規模多機能型居宅介護事業所 グループホーム 在宅介護支援センター
遠野長寿の郷 遠野長寿の郷 長寿園 長寿園 長寿園	長寿の森 吉祥園 森踊鹿 長寿の森	長寿庵 長寿庵

〒028-0501 岩手県遠野市 材木町2-22	〒028-0501 岩手県遠野市 青笹町糠前 9-7-67	〒028-0541 岩手県遠野市 松崎町白岩18-7
TEL 0198-63-1328 FAX 0198-63-1338	TEL 0198-62-2028 FAX 0198-62-0759	TEL 0198-63-1770 FAX 0198-63-1815

# 社会福祉法人とおの松寿会 新年挨拶

# 社会福祉法人とおの松寿会 理事長 松田 功

## 謹賀新年

新年明けましておめでとう御座います。

利用者又は家族の皆様、今年もよろしくお願ひします。

老人福祉事業は年々経営面で厳しさが増しています。当法人にとっても同様です。その理由は、国の介護給付見直しは必ず減額に見直しが行われるからです。これまで一度も増額はありませんでした。当法人の場合は創業時から今までに総額一億円程減額されております。昨年の減額は二千五百万円程になっております。更に、年々介護従事者のハードルを高くし様々な資格制度を作っています。スキルをアップする事は良い事かもしれませんが、問題はそれに見合った給付をしないことです。このような矛盾した考え方に憤りを感じています。

いずれ国を批判しても物事の解決にならないので、国の矛盾した制度に対しどのように対処すればいいのかわかりません。職員の方々と一緒に考え、取り組んでいかなければならないと思います。そこで、とおの松寿会の職員は利用者の為に、「やれば出来る何事も」と言う考え方で効率的な介護を行ってまいりたいと思います。

尚、今後の経営方針として、待機者の緩和等を考慮したサービス付高齢者向け住宅の建設、長寿の郷、長寿の森、長寿庵の三施設に合った給食センターの建設。更には、新会計の移行に伴い、拠点ごとの経営内容が問われますので、問題を抱えている特定施設を今後、存続か廃止かを検討し経営の安定化を進めてまいります。

それから、新たな国の方針として、法人の合併推進を進める考え方を示しています。その目的は、法人の規模を大きくして、経営の効率化を図り、資金に余裕を持たせて、社会貢献を今以上に求めると言うものです。

現在、全国に生活保護に該当しない生活困窮者が多くいるということです。国は彼らに現金の支給を行って救済する考え方を示しています。法人の厳しい経営を考えれば全く受け入れられないものです。このように、国は益々法人に負担を強いる考え方を示していますので、それに耐える経営体力を持たなければなりません。

このように、厳しい中にも、高齢者の方々には残された時間を悔いなく、楽しく過ごせるように運営を進めてまいりたいと思います。何れ、皆さんの協力なくして経営は出来ませんので今後とも宜しくお願ひいたします。

裏面は各事業所の施設長挨拶になります。

# 社会福祉法人とおの松寿会

## 新年挨拶

遠野 長寿の郷

施設長 菊池 浩之

新年あけましておめでとうございます。

利用者様、ご家族様、地域の皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年四月より施設長として着任し、遠野長寿の郷の運営に携わらせていただいておりますが、利用者様、ご家族の皆様には様々な場面で、ご指導ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、地域の皆様方には、当施設の運営やボランティアほか各種行事にご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。

地域における高齢者福祉にかかわる課題では、高齢者世帯及び独居世帯の増加により家庭での介護力が低下している状況などが指摘されています。そして、その影響もあり介護者の疲労や虐待などの相談が増えるなど介護問題は大きな地域の社会問題となっております。また、認知症高齢者の数も増加しさらに私たちの身近な課題となっておりますことは軽視することはできません。

そんな状況下、入所・通所のサービスを提供する当施設に求められる役割は、ますます大きくなってきていると思っています。地域のニーズに対応した介護サービスの質を向上させていくことが必要と考えております。現状としては、人材確保に苦慮している中ではあります。職員には介護の仕事にやりがいを感じてもらい、日常の支援の中で利用者様から多くのことを学ばせていただきながら個々に成長できるように取り組んでいきたいと考えています。

今後利用者様が安心して笑顔で生活できるよう支援をするとともに、地域の福祉・介護事業所などの関係機関との連携により、介護が必要な状況になってもこの地域で安心して暮らすことができるよう、職員一同一丸となって邁進していく所存でございます。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

二〇一四年が、利用者様、ご家族様そして地域の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

長寿の森吉祥園

施設長 遠藤 利則

新年あけましておめでとうございます。

ご利用者様、ご家族様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃よりご利用者様、ご家族様、地域の自治会を始め住民の皆様、ボランティア・学校・行政等の関係機関の皆様には、長寿の森の運営にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、一二月に東日本大震災による津波で被災された釜石市の養護老人ホーム五葉寮が移転新築により再開し、当施設に避難されていた方の中から二名が戻られました。二年八カ月あまりもここで過ごされたので、何とも淋しい限りですが、お元気で過ごし頂くことを願うばかりです。

そんなことから、長寿の森の今年も震災対応の継続ではなく、新たな時代に向けた準備の年と考えています。四月と来年は消費税が増税されますし、来年の介護保険制度の改正に向けた検討も活発に進められ、その全容が明らかになっていきます。

また、吉祥園の運営形態を特定施設から個別契約型へと移行したいと考え、遠野市との協議を続けて参りたいと存じます。養護老人ホームは低所得の高齢者や身体上、精神上支援を必要とする高齢者の生活の場として重要な役割を担っています。しかし、特定施設では要介護者に重きを置く運営となるため、養護老人ホーム本来の役目を十分に果たせないと思われ、運営形態の見直しは必要であると考えています。

本年も「地域貢献」と「高齢者福祉の向上」を念頭に置き、様々なことに取り組みながら皆様と共に歩んで参りたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

地域密着型サービス拠点長寿庵施設長 山口 恵美子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地元材木町自治会をはじめ関係諸機関の皆様のご支援とご協力により、地域に根差した事業運営を推進することが出来ました。

ご利用者様がその人らしく生活を営むことができる支援を、その人にとってより良い方法を模索、提案しそれを支援していただける事業所となるよう、努めて参る所存です。

本年も倍旧のご支援を賜りますと共に、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。